(19)日本国特許庁(JP)　(12)登録実用新案公報(U)　(11)実用新案登録番号
実用新案登録第3127085号
(U3127085)
(45)発行日　平成18年11月24日(2006.11.24)　(24)登録日　平成18年11月1日(2006.11.1)

(51)Int.Cl.　F I
B65D 85/50 (2006.01)　B65D 85/50 D

評価書の請求 未請求　請求項の数 1　書面　(全 4 頁)

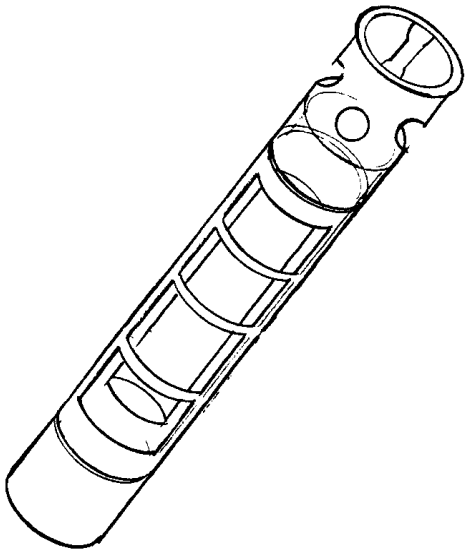
(21)出願番号　実願2006-795(U2006-795)
(22)出願日　平成18年1月12日(2006.1.12)

(73)実用新案権者　501319313
岡　敏彦
京都府京都市伏見区小栗栖南後藤町６番地
北公団３１―５０１
(72)考案者　岡　敏彦
京都市伏見区小栗栖南後藤町６番地　北公団３１－５０１

(54)【考案の名称】ペットボトル用お茶パックホルダー

(57)【要約】
【課題】これまで飲料メーカーの大量生産された味を選び飲んでいたのが大半であり、水、お茶を選択し飲むことが困難であった。よい水よいお茶を選び健康に役立つお茶飲むことができるペットボトル用お茶パックホルダーを提供する。
【解決手段】　ペットボトルサイズに合ったお茶パックホルダーをしようすることにより適時挿入、取り出しを可能になり冷水、温水共に携帯し外出時も選んだ水、選んだ茶葉によりお茶を飲むことができる。
【選択図】図４

組込一体斜図

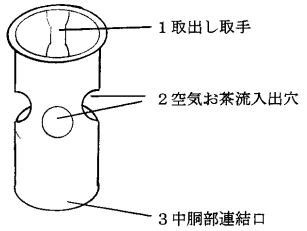


【実用新案登録請求の範囲】
【請求項１】
上部・中胴部・中胴部カバーから成り上部には取り出し取手を付け（１）中胴部〔図２〕にはお茶パック挿入口（５）を設けはみ出し防止カバー〔図３〕組み込み必要に応じて連結口（６）に２個３個と連結し使用できる樹脂製お茶パックホルダー
【考案の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
この考案は、上部・中胴部・中胴部カバーともにペットボトル同様ＰＥＴ樹脂から成り使用後洗浄することにより再使用できるものである
【考案の開示】

【背景技術】
【０００２】
従来お茶パックを直接挿入か紐付きタイプ又は掘り込浮遊形があった。
【考案が解決しようとする課題】
【０００３】
　これは、次のような欠点があった。
（１）お茶パックをペットボトル挿入し使用した場合は取出しが大変難しい。
（２）お茶パック挿入のまま飲むことが困難である。
（３）掘り込方は途中取出しが難しく飲むことも困難である。
　本案はこれらの欠点を除くためになされたものである。
【課題を解決するための手段】
【００４】
全体が三つの部分からなり上部には取り出し用取手配し中胴部には大型のお茶パック挿入口を設け、はみだし防止カバー取り付け、中央部下部には連結口を設けることにより２個、３個と連結できる　好み、健康のため途中取り出し増結が簡単にできる又洗浄することにより再利用も可能である。
【考案の効果】
【００５】
（１）濃度調節簡単にできのことにより身体に合ったお茶を飲むもことができる
（２）専用パック市販お茶パック問わず使用できる
（３）名水と言われる水と銘茶との組み合わせ容易できる
【考案を実施するための最良の形態】
浄水器をとうした水またはペットボトルで販売されている水を使用し水、又は温水と考案のホルダーにお茶を組み込むことによりお茶等（紅茶・コーヒー）利用の巾が広がるペットボトル再利用にも貢献できる考案ペットボトルホルダーもＰＥＴ樹脂を使用することによりリサイクルもペットボトル同様に処理できる。
【図面の簡単な説明】
【図１】　本案の上部図である。
【図２】　本案の中胴図である。
【図３】　本案の中胴カバー図である。
【図４】　本案の組込み図である。
【図５】　本案の実施図である
【符号の説明】
　１　取出し取手　　２　空気お茶流入出口　　３　中胴連結口
　４　中胴部カバー　　５　お茶パック挿入口　　６　２個目連結口
　７　お茶パック

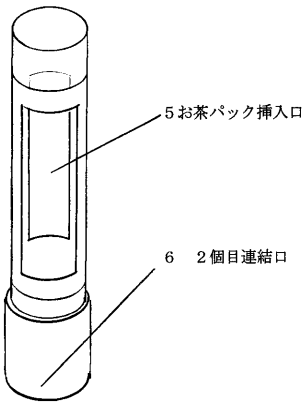
【図１】

本考案図上部図



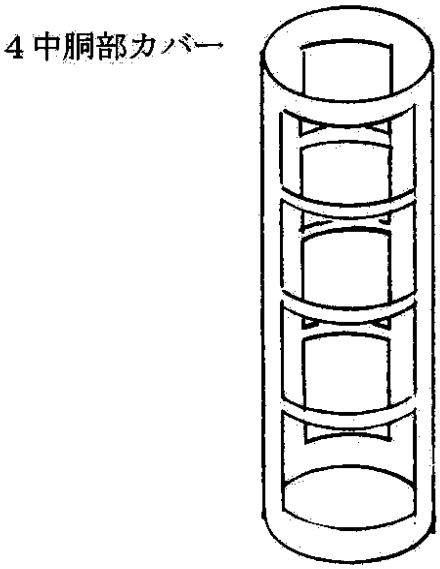
【図２】

中胴部図



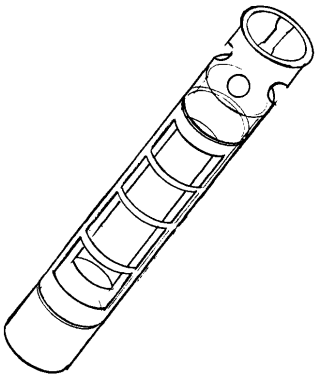
【図３】

中胴カバー部図



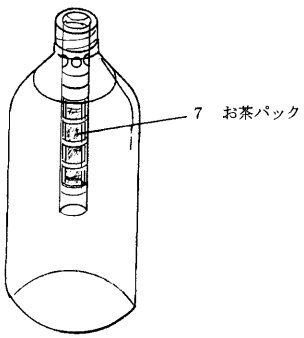
【図４】

組込一体斜図



【図５】

ペットボトル組込み図



【手続補正書】
【提出日】平成18年5月11日(2006.5.11)
【手続補正１】
【補正対象書類名】実用新案登録請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【実用新案登録請求の範囲】
【請求項１】
ペットボトル樹脂からなる中空ホルダー内にお茶入パックを挿入し好み濃度により連結可能なホルダー
【手続補正書】
【提出日】平成18年8月21日(2006.8.21)
【手続補正１】
【補正対象書類名】実用新案登録請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【実用新案登録請求の範囲】
【請求項１】
上部・中胴部・中胴部カバーから成り、上部には取り出し取手を付け中胴部にはお茶パック挿入口を設け、はみ出し防止のためのカバーを組み込み、必要に応じて連結口に２個３個と連結し使用できる樹脂製お茶パックホルダー。